

WEB PARK 2014 仮想ホスト設定ガイド

第 3.4 版 2017 年 10 月

【ご注意下さい】

1. 本ガイドに記載している内容の一部又は全部を無断で転記することは禁止します。
2. 本ガイドに記載している内容は、サービス内容の変更に伴い訂正する場合があります。
また、記載している内容についての修正のため、予告なしに変更する場合があります。
3. 最新の情報は、WEB PARK 2014 の WEB ページにてご確認ください。

▼WEB PARK 2014

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/>

版	更新日	備考
第 1.0 版	2013 年 12 月 13 日	新規作成
第 2.0 版	2014 年 2 月 19 日	ドメイン名とパスワード確認方法、補足を追加
第 3.0 版	2014 年 2 月 26 日	2. DNS へのレコード登録について 補足、追加
第 3.1 版	2014 年 3 月 12 日	補足の更新・追加
第 3.2 版	2014 年 8 月 27 日	2. DNS へのレコード登録について 補足、追加
第 3.3 版	2016 年 10 月 21 日	パスワード確認方法を更新 リンクを修正
第 3.4 版	2017 年 10 月 5 日	2.1 登録するレコードの内容 DNS サーバ IP アドレスを修正

目次

1. 概要.....	3
2. DNS へのレコード登録.....	4
3. ドメイン設定.....	7
4. 仮想ホストの動作確認	14

1. 概要

2014年2月からサービスを開始したWEB PARK 2014では、さくらインターネット株式会社が提供するWebサーバ「さくらのレンタルサーバ」を皆様にご利用いただいております。WEB PARKで提供していた仮想ホスト機能はWEB PARK 2014でも利用することが可能です。WEB PARK 2014においてはwebparkNNNN.sakura.ne.jpとpark.itc.u-tokyo.ac.jpドメインにてサイトを公開する設定がデフォルトになりますが、仮想ホスト機能はこれら以外のドメインを使ってサイトを公開するときに便利な機能です。

仮想ホスト機能を使わない場合...

<http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/>
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/>組織略称

-  ・サイトのURLに「sakura.ne.jp」「park.itc.u-tokyo.ac.jp」が入る
-  ・単一ドメインしか運用できない
-  ・DNS等の設定は不要



仮想ホスト機能を使うと...

-  ・取得したドメインのURLでサイトを公開できる
-  ・複数ドメイン(マルチサイト)を運用可能
-  ・DNS等の設定が必要

<http://wp2014.u-tokyo.ac.jp/>



<http://elearn.u-tokyo.ac.jp/>



<http://info.u-tokyo.ac.jp/>



2. DNS へのレコード登録

本ガイドでは、追加する仮想ホスト名の例として www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp を設定する（つまり、WEB PARK 2014 上に設置した Web サイトを http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/ で参照できるように設定する）こととします。以降、各自が設定する予定の仮想ホスト名に読み替えてください。

仮想ホストでの利用に当たっては、DNS サーバへのレコード登録が必要となります。上位ドメイン（この例では ecc.u-tokyo.ac.jp）の DNS 管理者に DNS レコードの設定を依頼してください。登録すべき内容は、仮想ホスト名の利用状況によって異なります。

なお、DNS の管理者（部局のネットワーク担当者）が不明な場合は、部局または組織のネットワーク担当者一覧として以下のサイトをご参照ください。

▼UTNET 部局担当者一覧（学内のみ）

<https://www.nc.u-tokyo.ac.jp/UTnet/HPmake.pl>

【注意】

WEB PARK で仮想ホストを設定していた、または他の Web サーバで運用していたサイトを WEB PARK 2014 に移行する場合、DNS の設定を変えると旧サーバ上のサイトをインターネット経由で参照できなくなります。

その場合は /home/webparkNNNN/www/ 配下の領域に移行対象のサイトを構築してから http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/ にアクセスして動作確認を行い、**最後に DNS の設定切り替えを行う**ことを推奨します。（サイトにアクセス制限を設けたい場合は.htaccess の設置などをご検討ください。本ガイドでは.htaccess の説明は行いません。）

2.1 登録するレコードの内容

DNS サーバ管理者に NS レコードの登録を依頼してください。

NS レコードとしては、さくらインターネット株式会社が保有する 2 台の DNS サーバのホスト名 ns1.dns.ne.jp (61.211.236.1) 及び ns2.dns.ne.jp (133.167.21.1) を登録します。この例では、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

www.vtest01	IN	NS	ns1.dns.ne.jp.
www.vtest01	IN	NS	ns2.dns.ne.jp.

※上位ドメインの管理の都合などで、NS レコードの登録を推奨しない場合は、2.1 と同様に A レコードを登録するか、または次の CNAME レコードの登録を依頼してください。

www.vtest01	IN	CNAME	webparkNNNN.sakura.ne.jp.
--------------------	-----------	--------------	----------------------------------

仮想ホスト名をメール等の用途でも使っていると、上記の設定ではメールの配送が正しく行われないケースがあります。その場合、推奨ではありませんが 次の「2.1.1 仮想ホスト名を含むホスト名やドメインを他の用途に利用する場合」の設定例を参照してください。

2.1.1 仮想ホスト名をメール等の用途でも使用している場合

以下の1)または2)の条件に当てはまる場合は、NSレコードの代わりにAレコードの登録を依頼してください。

1) WEB PARK 2014 の仮想ホスト名（以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp）と全く同じ名前で、学内組織向けメールサーバ MAILHOSTING (<http://mh.itc.u-tokyo.ac.jp/>)などのメールサーバを運用している場合。

-- 以下の例では user1@www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp というメールアドレスで、メールサーバを利用している場合に相当します。

-- 例えば、仮想ホスト名が www.ecc.u-tokyo.ac.jp で、メールアドレスとして利用するのが @ecc.u-tokyo.ac.jp のような場合は、同じ名前でメールサーバを利用していることには当てはまりません。但し、次の 2) の条件に当てはまらないかを注意してください。

2) WEB PARK 2014 の仮想ホスト名（以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp）を親ドメインとするホスト名(例えば host1.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp や pc2.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp など)を、サーバやパソコンなどの機器に割り当てている場合

A レコードとして登録すべき IP アドレスは、組織ごとに割り当てられた利用サーバ (webparkNNNN.sakura.ne.jp のようなホスト名。NNNN は組織ごとに異なる4桁の数字) の IP アドレスです。nslookup などのコマンドを用いて調べた IP アドレスを、A レコードとして登録するよう依頼してください。この例では、仮に webparkNNNN.sakura.ne.jp の IP アドレスが 192.168.1.1 だとすると、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

www.vtest01 IN A 192.168.1.1

3. ドメイン設定

まずサーバコントロールパネルにログインします。

▼サーバコントロールパネル

<https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/>

サーバコントロールパネル ログイン

お客さまのドメイン名と、サービスパスワードをご入力ください。

ドメイン名: ①

パスワード: ②

[ウェブメール](#) || [パスワードを忘れたときは](#) || [ログイン方法について](#)

<注意事項>

- ④ さくらのレンタルサーバをご利用の場合、パスワードは仮登録完了メールに記載のパスワードです。
さくらのマネージドサーバをご利用の場合、パスワードは登録完了メールに記載のパスワードです。
(再発行や変更した場合は異なります)
- ④ サーバ管理者は「ドメイン名」にドメイン、「パスワード」にサーバパスワードを入力することでログインできます。
- ④ メールアドレスの利用者は「ドメイン名」にメールアドレス、「パスワード」にメールパスワードを入力することでログインできます。(利用できる機能に制限があります)

- ① ドメイン名: [webparkNNNN.sakura.ne.jp](#)
- ② パスワード: 上記ドメイン名に対応したパスワード

入力が終わったら をクリックしてサーバに接続します。

※[webparkNNNN](#) の”NNNN”は組織ごとに割り当てられる 4 桁の数字になります。各自、割り当てられた数字に読み替えてください。

①②の確認方法については次のページをご参照ください。

◆ドメイン名とパスワードを確認するには(コントロールパネルにログインできない場合)

さくらインターネットのサーバや、コントロールパネルに ログインする場合に必要な情報は利用申請システムで確認できます。ただし、コントロールパネルにログインする際には、以下のとおり、ドメイン名 (sakura.ne.jp) を加え入力する必要があります。

▼WEB PARK 2014 利用システムにログインします。

<http://park2014.itc.u-tokyo.ac.jp/>

WEB PARK 2014 サービス 利用申請システム (各種申請受付)

2014年2月3日作成
2014年7月31日更新

WEB PARK 2014 サービスに関わる各種申請 (新規申請、継続申請、各種情報確認・修正、利用中止申請) は、Web から行います。以下の該当するページにお進みください。

※WEB PARK 2014サービスに関わる各種申請書の送付先は以下の通りです。申請書の送付先：東京大学
<駒場 I> 教養学部情報教育棟 E15 WEB PARK 担当宛

WEB PARK 2014利用申請システム

●既にご利用されている場合はこちら
継続申請、各種情報確認・修正、利用中止申請など

※上記ボタンをクリックすると、次のページ (ログイン画面) でパスワードを求められます
●WEB PARK から WEB PARK 2014 への移行を行った利用者様 (グループA,B) は、WEB PARK の利用者管理システムでご利用いただけます。パスワードを入力してください。
●2014年1月10日以前に新規でWEB PARK 2014へ申し込みされた利用者様は、学内画面上の利用申請システムへのログインが

「●既にご利用されている場合はこちら」をクリックするとログイン画面が表示されます

WEB PARK 2014 利用申請システム

WEB PARK 2014 利用申請システムでは、登録内容の変更や継続のお申し込みができます。

組織の略称

パスワード

ログイン

● 組織の略称およびパスワードを入力してログインします (アルファベットの大文字・小文字は区別します)。
● さくらインターネットのコントロールパネルやサーバにログインするアカウント (webparkNNNN) とは異なりますのでご注意ください。
● パスワードが不明な場合には再発行処理を行います。詳しくは「こちら」をご確認ください。

「組織の略称」「パスワード」を入力して をクリックします。

※「組織の略称」「パスワード(初期パスワード)」は別途学内便にて送付した通知書に記載されています。ご自身で変更したパスワードを忘れた場合は、再発行を依頼してください。

▼利用申請システム用(各種申請)パスワードの再発行

http://webpark1750.sakura.ne.jp/elearnb/?page_id=625

「WEB PARK 2014 各種申請」画面が表示されます。赤枠部分がご利用されているサーバ情報です。

ご利用のサーバ情報が表示されています

拡大図

変更 WEB PARK 2014 作業用アカウント(webparkNNNN)のパスワード再設定

- 再設定処理には数日かかります。
- 再設定したパスワードは、1週間以内に「代表者様へ」学内便でお送りします。学内便の送付先は本画面上部にあります。「連絡担当者、学内便送付先、備考の変更」に記載してありますのでご確認ください。変更がある際には変更を行ってからパスワード再設定を行ってください。

現在登録されている情報は以下のとおりです。パスワードが不明の場合は再発行しますので[変更]をクリックしてください。

作業用アカウント **webparkNNNN**
ハードディスク容量 **標準**
組織URL **http://park.itc-u-tokyo.ac.jp/testXX/**
利用サーバ **webparkNNNN.sakura.ne.jp**

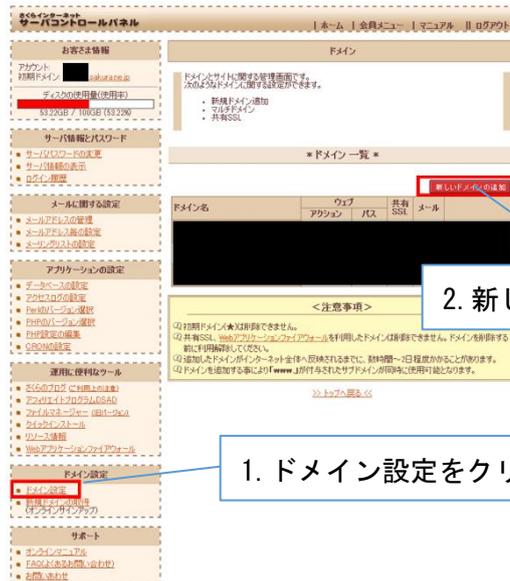
※WEB PARK2014の作業用アカウント(webparkNNNN)のパスワード変更は、さくらインターネットのコントロールパネルにログインして変更を行ってください。
コントロールパネルへは ドメイン:webparkNNNN.sakura.ne.jp パスワード:サーバパスワード でログインしてください。
※コントロールパネル上でパスワード変更された場合は、変更したパスワードでコントロールパネルへログインしてください。

コントロールパネルログイン画面の「ドメイン名」には、上図「利用サーバ」に記載の情報を入力してください。

ログインに成功するとサーバコントロールパネルのメニュー画面が表示されます。

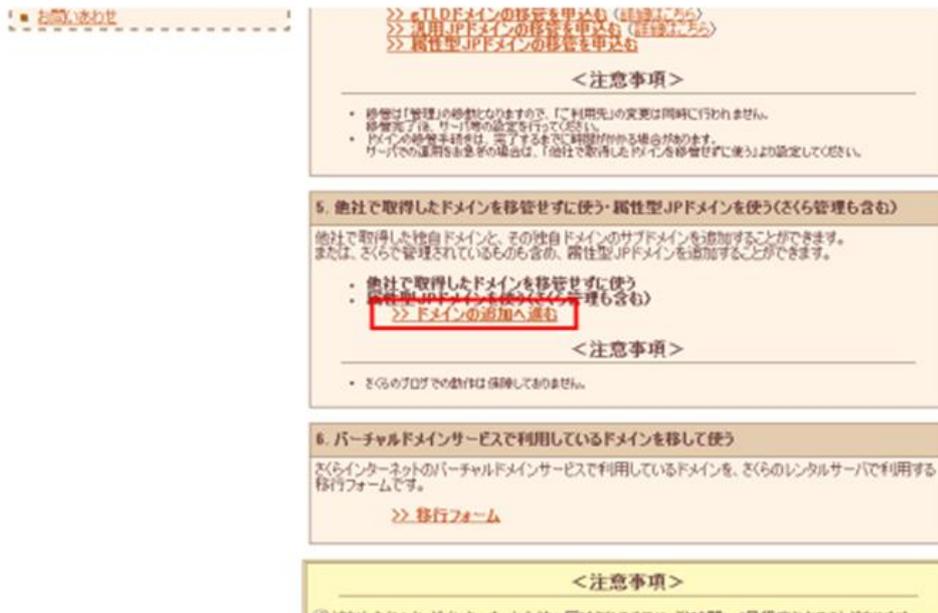
コントロールパネルトップページ左メニュー「ドメイン設定」カテゴリ内の「ドメイン設定」をクリックします。

右側エリアにドメイン一覧が表示されますので「新しいドメインの追加」をクリックしてください

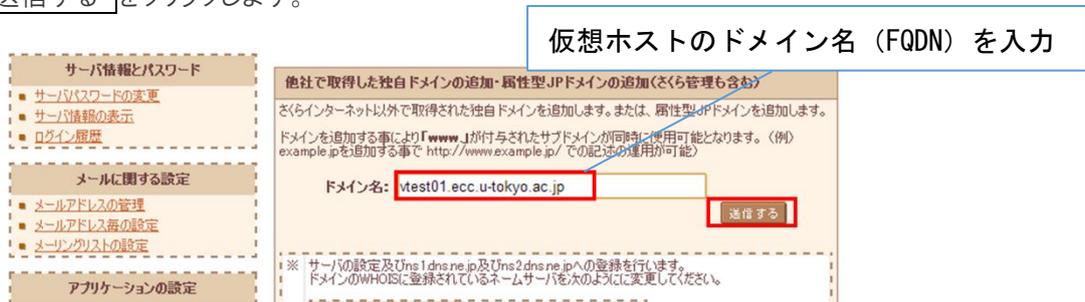


2. 新しいドメインの追加をクリック

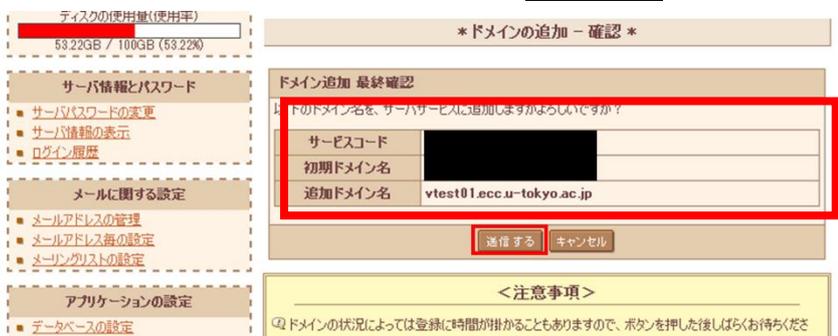
右側エリアに表示された一覧の中の「5. 他社で取得したドメインを移管せずに使う・属性型 JP ドメインを使う（さくら管理も含む）」カテゴリから「>>ドメインの追加へ進む」をクリックします。



「他社で取得した独自ドメインの追加・属性型 JP ドメインの追加（さくら管理も含む）」カテゴリのドメイン名欄に、追加する仮想ホストのドメイン名（FQDN）を入力します。（ここでは例として「www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp」を追加します（注：下図では“www”が抜けております））
入力後 **送信する** をクリックします。



確認画面が表示されます。内容が正しいことを確認して **送信する** をクリックします。



これでドメインの追加が完了しました。

【注意】

サーバコントロールパネルで入力する「ドメイン名」は仮想ホスト名の FQDN です。特に www.X.Y.u-tokyo.ac.jp のような仮想ホスト名をお使いの場合に、X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録することは推奨しません。www.X.Y.u-tokyo.ac.jp を入力してください。

ドメイン名として X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録しても、自動的に www.X.Y.u-tokyo.ac.jp でウェブサーバを利用可能になりますが、それによって user1@X.Y.u-tokyo.ac.jp 宛のメールが既存のメールサーバに届かなくなる、などの大きな問題が生じる可能性があります。X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録することで発生する影響を十分判断できない場合は、X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録するのはお止めください。

次に仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリ(ドキュメントルート)を設定します。

[>>詳細設定にすすむ<<](#) をクリックしてください。



ドメイン詳細設定画面が開きます。「2. マルチドメインの対象のフォルダをご指定ください」の項目で指定フォルダ欄を入力します。ここには仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリを指定します。ここでは例として「/」を入力しています。他の項目はご利用の用途に合わせて設定してください。

入力が完了したら「送信」をクリックします。

ディスクの使用量(使用率)
53.22GB / 100GB (53.22%)

サーバ情報とパスワード

- サーバパスワードの変更
- サーバ情報の表示
- ログイン履歴

メールに関する設定

- メールアドレスの管理
- メールアドレス毎の設定
- メールリストの設定

アプリケーションの設定

- データベースの設定
- アクセスログの設定
- Perlのバージョン選択
- PHPのバージョン選択
- PHP設定の編集
- CRONの設定

運用に便利なツール

- さくらのブログ (ご利用上の注意)
- アフィリエイトプログラムDSAD
- ファイルマネージャー (旧バージョン)
- クイックインストール
- リソース情報
- Webアプリケーションファイアウォール

ドメイン設定

- ドメイン設定
- 新規ドメインの取得 (オンラインサインアップ)

サポート

- オンラインマニュアル
- FAQ(よくあるお問い合わせ)
- お問い合わせ

ドメイン詳細設定

+ vttest01.eccu-tokyo.ac.jpの使用方法をお選びください

1. 設定をお選びください

- マルチドメインとして使用する(推奨)
マルチドメインを選択しドメイン名でアクセスしたとき、指定したフォルダを既定のフォルダとして表示します。同時にwwwが付与されたサブドメインも利用できます。
以下のURLがご利用いただけます。
<http://vttest01.eccu-tokyo.ac.jp/>
<http://www.vttest01.eccu-tokyo.ac.jp/>
- wwwを付与せずマルチドメインとして使用する(上級者向け)
マルチドメインでwwwサブドメインを自動的に付与しないようにします。
以下のURLがご利用いただけます。詳細についてはFAQをご覧ください。
<http://vttest01.eccu-tokyo.ac.jp/>
- さくらのブログで使用する
ブログが作成されていません

2. マルチドメインの対象のフォルダをご指定ください

指定フォルダ
/home/ [] /www/ [/]

3. メール利用をお選びください

- このドメイン宛のメールは別のサーバで受信する(上級者向け)
ごインターネットで取得したドメインのみ、設定可能な項目です(サブドメイン除く)。他社のメールサーバで運用する際に選択ください。MXレコードで指定されたサーバに配信されます。

4. 共有SSLの利用を選んでください

- 共有SSLを利用する
- 共有SSLを利用しない

5. IPv6アドレスの利用を選んでください

- IPv6アドレスを利用する
IPv6アドレスの設定変更が反映されるまでに、数時間程度かかることがあります。設定されるIPv6アドレスはサーバ情報の表示をご覧ください。

送信 キャンセル

「ドメイン詳細設定 完了」という表示が出ます。これでドメインの設定は完了です。

次の章では仮想ホストの動作確認を行います。

4. 仮想ホストの動作確認

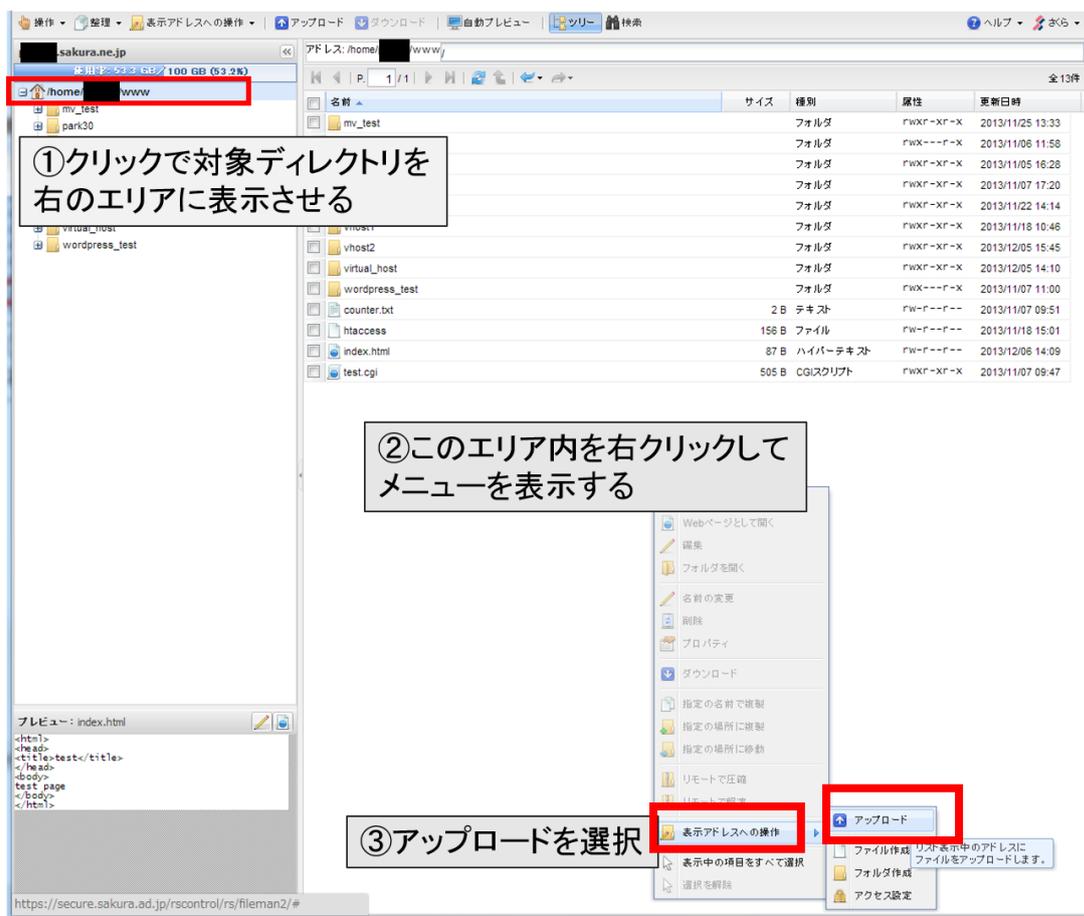
前章でマルチドメインの対象フォルダとして設定したディレクトリ(ドキュメントルート)に html ドキュメントを置いて、ブラウザでアクセスしてみましょう。

ここでは [http://\[設定した仮想ホスト\]/](http://[設定した仮想ホスト]/) というアドレスにアクセスして、設置した Web サイトが表示されることを確認します。

今回の例では `/home/webparkNNNN/www/` を仮想ホスト用のディレクトリ(ドキュメントルート)に設定しているため、`/home/webparkNNNN/www/index.html` を確認用に設置しました。

※webparkNNNN の”NNNN”には各ユーザに割り当てられた 4 桁の数字が入ります

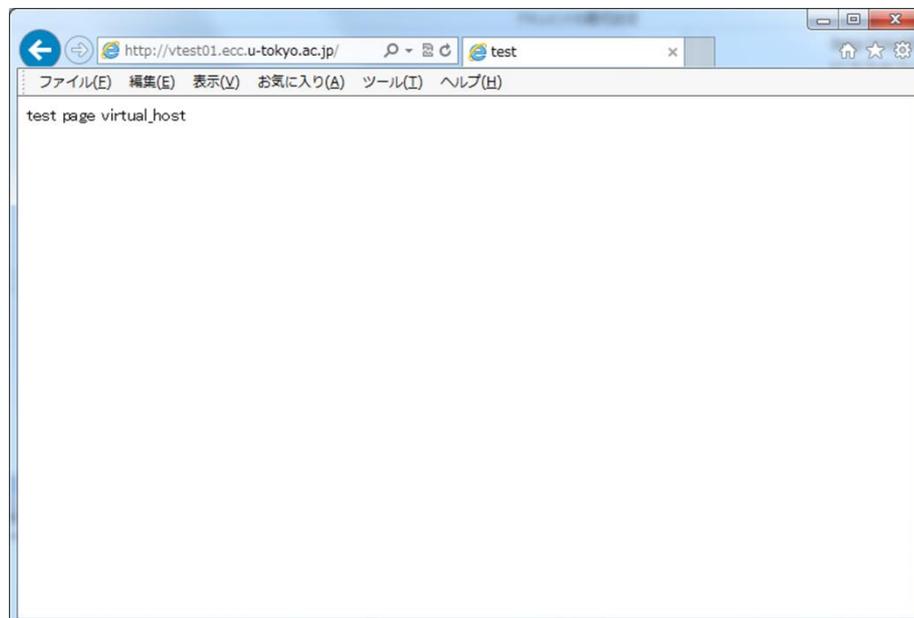
以下の図ではサーバコントロールパネルからファイルマネージャーを起動した画面です。右側空白エリアの右クリックからファイルを新規作成できます。また、ローカル PC からのアップロードも可能です。今回は手元の PC にメモ帳等で `index.html` を作成してアップロードしました。



ここに置いた `index.html` は「test page virtual_host」とだけ表示するシンプルな html ドキュメントです。

設置が終わったら Web ブラウザで

<http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/>にアクセスして、実際に設置したトップページが表示されるか確認します。



問題無くトップページが表示されました。これで設定作業は完了です。

補足1:

本ガイドでは単一サイト(ドメイン)の仮想ホスト設定例を紹介しました。手順を単純化する都合上ドキュメントルートは/home/webparkNNNN/www/に設定していますが、ドキュメントルートは www 配下の任意のディレクトリに設定していただいてもかまいません。特に複数のドメイン(マルチサイト)を運用される場合は、www 配下に適当なディレクトリを作成してそこをドキュメントルートに設定してください。ディレクトリの作成にはサーバコントロールパネル内のファイルマネージャーが便利です。ファイルマネージャーの使用方法についてはヘルプ(下記サイト)をご参照ください。

<https://help.sakura.ad.jp/hc/ja/articles/206207001>

補足 2:

DNS 関連の情報については、WEB PARK 2014WEB ページ「[よくある質問 FAQ](#)」でもご確認ください。

Q1: <http://www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp/> という URL でウェブサイトを構築したいが、さくらインターネットのサーバコントロールパネルの「新しいドメイン追加」のページの「ドメイン名」には何を入力すれば良いですか？

A1: www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入れることを推奨します。特に

- ・ www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp というドメインを管理する DNS サーバが存在する
- ・ user1@xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp のメールアドレスで、MailHosting など WEB PARK 2014 以外のメールサービスを利用

といった場合は、必ず www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入力してください。

なお、DNS に登録すべき内容については、Q2 をご参照ください。

Q2: 仮想ホストを使う場合は DNS に何を登録すればよいですか？

A2: さくらインターネットのレンタルサーバのサービスにおいては、利用開始時から登録されている初期ドメインとは別に独自ドメインを追加する場合に相当します。

ただし、同一のホスト名(ドメイン名)で、MAILHOSTING 又は他のメールサーバをお使いの場合は Q3 をご参照下さい。

Q3:MAILHOSTING 又は他のメールサーバでメールアドレス（@ より右の文字列）として使っている xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を、WEB PARK 2014 の仮想ホスト名（仮想ドメイン）として利用できますか。利用できる場合はどのように DNS に登録すれば良いですか。

A3: 利用できますが、**あまり推奨しません。**

以下の例や、さくらインターネットのマニュアル「[ドメインを利用\(他社で取得・管理のドメイン\)](#)」を参考に DNS 登録処理などをお願いいたします。

【 例 】xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を使う場合

さくらインターネットのマニュアル「[ドメインを利用\(他社で取得・管理のドメイン\)](#)」では、xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp の DNS サーバに xxx の NS レコードとしてさくらインターネットの 2 つの DNS サーバを登録することが推奨されています。

WEB PARK 2014 と他のメールサーバを使う場合は、NS レコードの変わりに以下の登録を DNS サーバ管理者に依頼してください。

・A レコードとして、利用サーバの IP アドレスを登録してください
(利用申請システムにおいて、ご利用のサーバ情報として表示されるホスト名より IP アドレスを nslookup コマンド等でご確認ください)。

参考：

[「サーバ情報の確認方法」](#)

[「自分の PC などアクセス制限を行っています。さくらインターネットで割り当てられたサーバの IP アドレスを許可したいのですが、許可する IP アドレスを教えてください。」](#)

・MX レコードとして、お使いのメールサーバのホスト名を登録してください。
なお、WEB PARK 2014 で利用しているさくらインターネットのレンタルサーバでは、登録した独自ドメイン宛のメールを受け取る機能が自動的に有効になり、これを無効にする方法がありません。

前記で示したように、上位ドメインの DNS サーバで MX レコードとしてお使いのメールサーバを登録することで、通常インターネット上から送られてくるメールはメールサーバに届きます。

しかし、お使いのサーバ上で動作する sendmail プログラムを用いたメール送信時には、そのメールが当該サーバ上に送られます。

例えば、メールフォーム（ウェブサーバにアクセスした利用者に対して問い合わせなどを入力させ、その内容を管理者にメールで送信する仕組み）などの CGI では sendmail プログラムを使う場合があるため、メールが届かない場合があります。

補足 3: NS レコードの登録について

WEB PARK 2014 のサービスでは、仮想ホストの利用にあたって NS レコードを DNS サーバに登録することを推奨します。一方技術的には、仮想ホストに対応するレンタルサーバの IP アドレスを A レコードとして登録することも可能です。

この点について、情報基盤センターとしての立場をご説明します。

レンタルサーバのサービスは、一式のハードウェア上の物理的なサーバを、仮想的に複数のレンタルサーバに分割することで実現されています。各レンタルサーバに割り振っている IP アドレスが、運用中に変更されたことがないとの報告をさくらインターネットから受けています。

しかし、メンテナンスなどの目的でレンタルサーバの IP アドレスを変更しないことが、将来に亘って保証されるものではありません。IP アドレスの変更は大きな影響があるため、何らかの事前連絡が行われるとセンターでは考えていますが、仮に連絡があったとしても A レコードで仮想ホストを利用する場合は、DNS サーバの登録内容の変更が多数発生する懸念があります。

このような状況を踏まえて、情報基盤センターでは原則としてさくらインターネットが標準的に示す NS レコードでの登録を推奨しています。

なお、「2.1 仮想ホスト名を含むホスト名やドメインを他の用途に利用する場合」で示したように、NS レコードの登録が WEB PARK 2014 以外のサービスを利用できない場合や、上位ドメインの管理上のポリシーで NS レコードの登録ができない場合は、A レコードでご登録ください※。

※ レンタルサーバの IP アドレスが変更になった時、DNS の変更が必要になります